

RLY5201,RLY5201R

C5000 シリーズ

2x1 ワイドバンドリレーセクター・モジュール

取扱説明書

Ver 1.02



COSMIC ENGINEERING
株式会社コスミックエンジニアリング

はじめにお読みください

ご使用上の注意

正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表しています。



注意

この表示内容が無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を表しています。



左の記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容が描かれています。



左の記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容が描かれています。



左の記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容が描かれています。

万一、製品の不具合や停電などの外的要因で映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

**■ 万一異常が発生したらそのまま使用しない**

煙が出ている、変なにおいがする、異常な音がする。
このような時はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、
本製品を設置した業者またはメーカーに修理を依頼してください。

**■ お客様による修理はしない**

お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。

**■ 不安定な場所に置かない**

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。
落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

**■ 内部に異物を入れない**

通風口などから内部に金属類や燃えやすいものを差し込んだり、
落とし込んだりしないでください。火災・感電・故障の原因となります。
万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを
コンセントから抜いてください。

**■ 本体フレーム等の天板等を外したり、改造をしない**

内部には電圧の高い部分がありますので、触ると感電の原因となります。
機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

**■ ご使用は正しい電源電圧で**

表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。

**■ 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない**

火災・感電の原因になります。

**■ 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む**

ショートや発熱により、火災・感電の原因となります。

**■ 電源ケーブルを傷つけない**

電源ケーブルを加工しない。無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
電源ケーブルの上に機器本体や重いものを載せない。
電源ケーブルを熱器具に近づけない。火災・感電の原因となります。

**■ 機器の上に水や薬品等が入った容器を置かない**

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因となります。

**■ 機器の上に小さな金属物を置かない**

万一内部に異物が入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグを本体
から抜いてください。火災・感電・故障の原因となります。



注意

■ 電源プラグを抜くときは

電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らずに必ずプラグをもって抜いてください。ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。



■ 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



■ 次のような場所には置かない

火災・感電の原因となります。
湿気やほこりの多いところ、直射日光の当たるところや暖房器具の近くなど
高温になるところ、油煙や湯気の当たるところ、水滴の発生しやすいところ。



■ 通風孔をふさがない

本体には内部の温度上昇を防ぐための通風孔が開けてありますので、次のような使い方はしないでください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。
あお向け、横倒、逆さまにする。風通しの悪い狭い場所に押し込む。



■ 重いものを載せない

機器の上に重いものや本体からはみ出る大きなものを置かないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となります。



■ 機器の接続は説明書をよく読んでから接続する

本体の電源を切り、各々の機器の取扱説明書に従って接続してください。
指定以外のケーブルを使用したり延長したりすると発熱し、火災・やけどの原因となります。



■ 長時間使用しないときは電源プラグを抜く

安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。



■ お手入れをする時は電源プラグを抜く

安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電の原因となることがあります。



仕様および外観は改良のため、予告無く変更することがあります。
本機を使用できるのは日本国内のみで、海外では使用できません。
海外仕様、DC入力仕様については弊社営業までお問い合わせ下さい。

目 次

表紙.....	1
はじめにお読みください.....	2
目次.....	5
1. 概要.....	7
2. 構成.....	7
3. 機能.....	7
4. ブロック図.....	8
5. 操作説明.....	8
5-1. フロント、リア入出力及び LED 表示.....	8
5-2. フロントモジュール設定.....	9
6. フレームへの取付方法.....	9
7. SNMP.....	10
8. WebControl.....	12
8-1. モジュール画面.....	12
8-2. ステータス.....	12
8-2-1. SW1 設定値(16 進).....	12
8-2-2. SW4 設定値(16 進).....	13
8-2-3. CPU 温度 (°C).....	13
8-2-4. CPU 温度アラーム.....	13
8-2-5. OUT 選択.....	13
8-3. 設定.....	13
8-3-1. CPU 高温アラーム閾値(°C).....	13
8-3-2. アラーム設定@CPU 高温.....	13
8-3-3. トラップ設定@CPU 高温.....	13
8-3-4. トラップ設定@入力選択変更.....	13
8-3-5. 入力選択.....	13
8-3-6. 入力切替実行.....	13
8-3-7. GPI 制御設定.....	13
8-3-8. GPI 設定.....	13
8-3-9. 初期設定に戻す.....	13
8-4. 再起動設定.....	14
8-4-1. 再起動を許可.....	14
8-4-2. コントローラーの再起動.....	14
8-5. ログ設定.....	14
8-5-1. ログ件数.....	14
8-5-2. ログ更新時刻.....	14

8-5-3. SDカード状態	14
8-5-4. ログファイル初期化	14
8-5-5. ログ取得	15
8-6. 製品情報	15
8-6-1. 製品 ID	15
8-6-2. 製品概要	15
8-6-3. Version (Firmware), Version (Hardware)	15
8-6-4. 占有スロット数	15
8-6-5. 別名	15
8-6-6. シリアル番号	15
9. ピンアサイン	16
9-1. RLY5201	16
9-2. RLY5201R	17
10. 複数回線の連動切替について	18
10-1. RLY5201 と複数の RLY5201R を使用して切り替える方式	18
10-2. 複数の RLY5201 を使用して切り替える方式	19
11. 定格および電気的特性	20
12. お問い合わせ	21

1. 概要

- RLY5201 は C5000 モジュールシステムに搭載可能なワイドバンドリレー切替モジュールです。リアモジュール RLY5201R の追加を行うことで、連動して複数回線の切り替えが行えます。
- C5000 シリーズ システムフレーム C5002 (2RU) , C5001 (1RU) に搭載可能です。
- 欧州 RoHS 指令に適合しております。

2. 構成

RLY5201 は本体と付属品で構成されています。

下記の表の通り揃っていることを確認してください。

品 名	型 名	数 量	備 考
ワイドバンドリレー切替モジュール	RLY5201	1	本体
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

RLY5201R は本体と付属品で構成されています。

下記の表の通り揃っていることを確認してください。

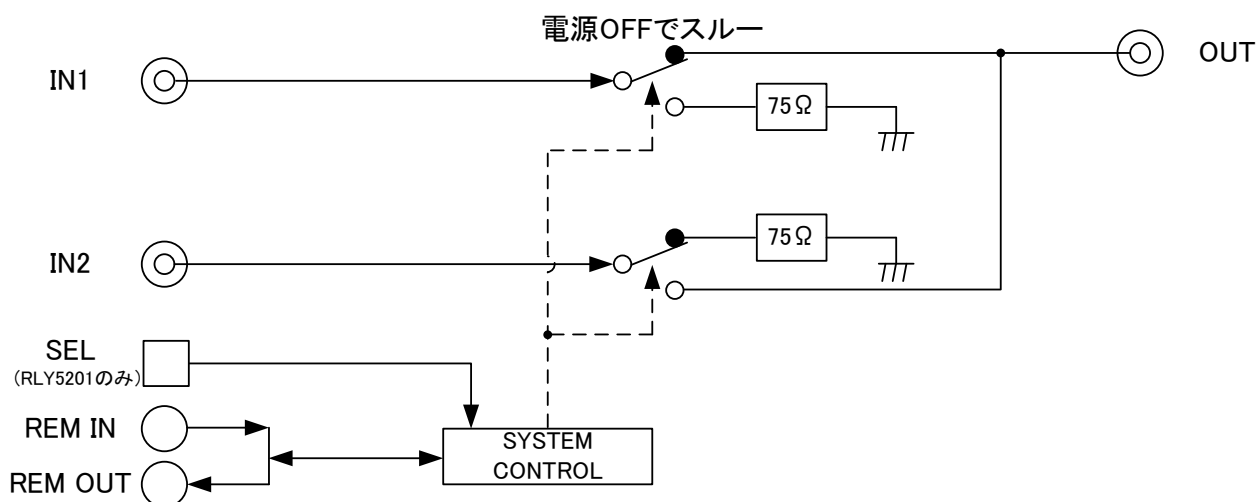
品 名	型 名	数 量	備 考
ワイドバンドリレー切替モジュール	RLY5201R	1	本体
リモート接続ケーブル	CBL5000-RLY1	1	
取扱説明書		1	本書
検査合格証		1	

3. 機能

- ・ NTSC、AES/EBU、3G-SDI、SD-SDI、HD-SDI 等 DC～3.0Gbps までの信号を 2 系統切り換えて出力します。
- ・ 切り換え外部制御はリアパネルから行いますが、フロントパネルや WEB からでも操作が行なえます。外部制御の有効/無効、パルス制御/レベル制御は基板上的のスイッチ、SNMP または WEB で行います。外部制御をレベル制御で使用する場合は、フロントモジュールからの操作を行っても、すぐに外部制御の設定レベルに切り替わりますので注意してください。
- ・ 選択されている入力を LED で表示します。

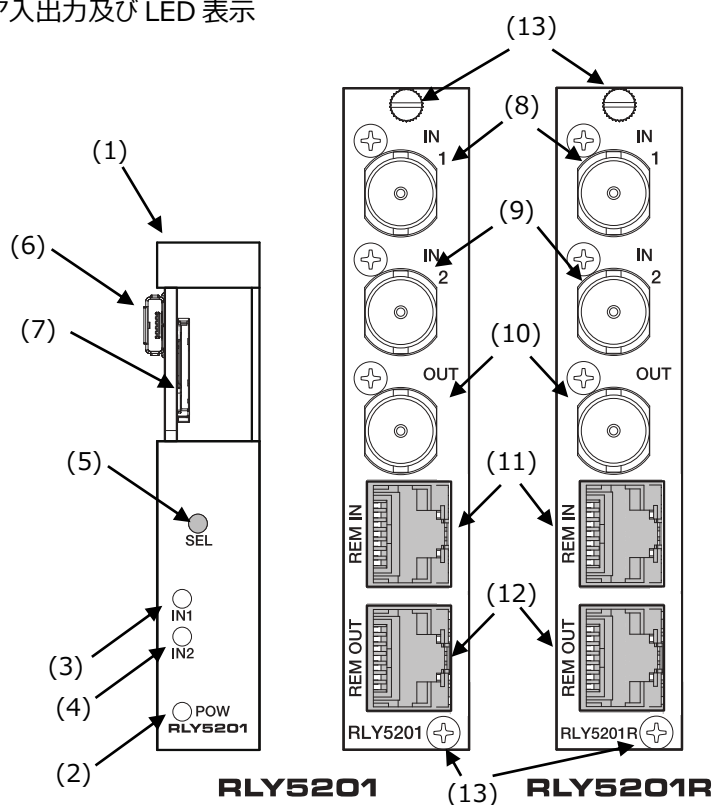
IN1 選択	----	IN1 選択時 LED 緑 点灯、IN2 選択時 消灯
IN2 選択	----	IN2 選択時 LED 緑 点灯、IN1 選択時 消灯
- ・ エマージェンシースルー（電源 OFF 時）に対応します。
- ・ SNMP に対応します。
- ・ ログ機能搭載（切り換え変化時刻を記録）
- ・ 活線挿抜が可能です。

4. ブロック図



5. 操作説明

5-1. フロント、リア入出力及び LED 表示



(1) フロントモジュール引き出し取っ手

(2) 電源ランプ 電源投入時 緑点灯

(3) IN1 LED

IN1 が選択されている時 緑点灯

(4) IN2 LED

IN2 が選択されている時 緑点灯

(5)入力切替スイッチ SEL

入力を切り替えるスイッチ。ただし、外部制御をレベル設定で使用する場合、フロントモジュールからの操作を行っても、すぐに外部制御の設定レベルに切り替わりますので注意してください

(6)マイクロ A/B USB コネクター

メンテナンス用の USB コネクターです。

(7)SD カードスロット

ログを格納する SD カードスロットです。(SD カードはマイクロ SD カードです)

(8)入力 1 IN1

(9)入力 2 IN2

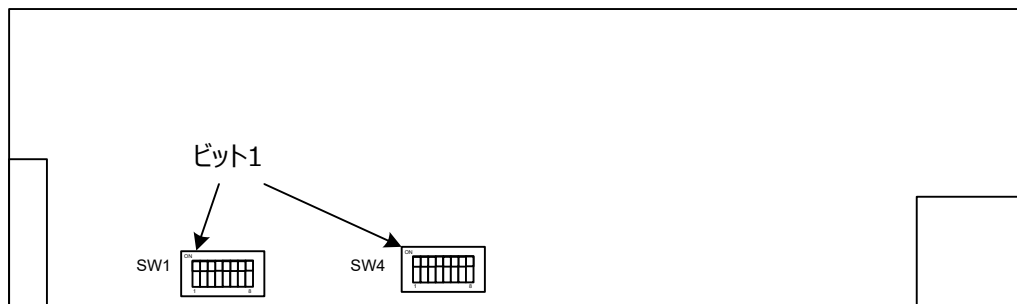
(10)出力 OUT

(11)外部制御入力 REM IN

(12)外部制御出力 REM OUT

(13)リアモジュール固定ネジ 2 か所

5 - 2. フロントモジュール設定



SW1 出荷時は、すべて OFF です。

ビット	内容
1	外部制御 有効/無効スイッチ OFF:無効、ON : 有効
2	外部制御 レベル/パルス制御スイッチ OFF:パルス制御、ON : レベル制御
3-8	Reserved

SW4 出荷時は、すべて OFF です。

ビット	内容
1-8	Reserved

6. フレームへの取付方法

6-1 “1slot”以上の空きを確認して実装します。RLY5201R を実装する場合は合わせてモジュール数分の空きスロットを確認して実装します。

6-2 リアモジュールを slot にさしてリアモジュール固定ネジをそれぞれ 2 ヶ所ネジ止めします。

6-3 RLY5201 のリアモジュールの slot 番号を確認してフロントモジュールを挿入します。

6-4 フレームから取り外す際には、フロントモジュールを取り外し後、上下のリアモジュール固定ネジをそれぞれ 2 ヶ所緩めていただき、上側の固定ネジを持って引き抜いてください。

7. SNMP

RLY5201 は SNMP による監視が可能です。

RLY5201 は、[1.3.6. 1.4.1.47892.2.1.90.]の後に、以下のオブジェクト識別子を加えて情報を取得します。index はスロット番号で、C5002 では 1～20、C5001 では 1～6 となります。Get/Set 項目の斜体太文字が初期値です。

Trap 項目の○は、Get 項目の値が Trap に付加されるオブジェクトであることを示しています。

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
ProductId 10.1.10.index	INTEGE R	RO	4	プロダクト ID 情報	90	
ProductDescr 10.1.11.index	OCTET STRING	RO	128	プロダクト説明	<i>“RLY5201 : 1 slot Wide-Band Relay Selector Module”</i>	
FwVer 10.1.12.index	OCTET STRING	RO	8	ファームウェアバージョン	–	
HwVer 10.1.13.index	OCTET STRING	RO	8	ハードウェアバージョン	–	
OccupiedSlot 10.1.14.index	INTEGE R	RO	4	占有スロット数	1	
AliasName 10.1.15.index	OCTET STRING	R/W	128	エイリアス名	<i>RLY5201</i>	
SerialNo 10.1.16.index	OCTET STRING	RO	16	シリアル番号	–	
AlarmEnCpuTempHigh 20.1.10.index	INTEGE R	R/W	4	CPU 温度アラームイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
TrapEnCpuTempHigh 20.1.20.index	INTEGE R	R/W	4	CPU 温度トラップイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
TrapEnInSeloutChange 20.1.22.index	INTEGE R	R/W	4	入力選択切替トラップイネーブル	<i>disable=1</i> , enable=2	
CpuTempHighTh 20.1.30.index	INTEGE R	R/W	4	CPU 温度アラームしきい値	-40~ 75 ~125	
InSel 20.1.40.index	INTEGE R	R/W	4	入力選択	<i>in1=1</i> , in2=2,	
InSelExec 20.1.41.index	INTEGE R	R/W	4	入力切替実行	<i>no=1</i> , yes=2	
GpiTrigger 20.1.42.index	INTEGE R	R/W	4	GPI 設定	<i>disable=1</i> , level=2, pulse=3	
GpiControl 20.1.43.index	INTEGE R	RO	4	GPI 制御	snmpWeb=1, dipSw1=2	

オブジェクト識別子	SYNTAX	ACCESS	BYTE	内容	Get/Set 項目	Trap
SetDefault 20.1.900.index	INTEGE R	R/W	4	初期設定に戻す	no=1 , yes=2	
AllowReboot 28.1.910.index	INTEGE R	R/W	4	再起動を許可	no=1 , yes=2	
Reboot 28.1.911.index	INTEGE R	R/W	4	再起動を実行	no=1 , yes=2	
LogCount 29.1.10.index	INTEGE R	RO	4	ログ件数	0~10000	
LogUpdateTime 29.1.11.index	OCTET STRING	RO	4	最新ログ更新時間	YYYY-MM-DD HH:MM:SS	
LogSdState 29.1.20.index	INTEGE R	RO	4	SD Card 状態	notExist=1, mounting=2, reading=3, idle=4	
LogReset 29.1.900.index	INTEGE R	R/W	4	ログのクリア	no=1 , yes=2	
CpuSw 30.1.10.index	INTEGE R	RO	4	CpuSw(SW1)の設定 ON=1、OFF=0	0~255	
FpgaSw 30.1.11.index	INTEGE R	RO	4	FpgaSw(SW4)の設定 ON=1、OFF=0	0~255	
CpuTemp 30.1.12.index	INTEGE R	RO	4	CPU 温度	-40~125	○
CpuTempHigh 30.1.13.index	INTEGE R	RO	4	CPU 温度エラー	normal=1, high=2	
InSelout 30.1.20.index	INTEGE R	RO	4	入力選択	in1=1, in2=2	○

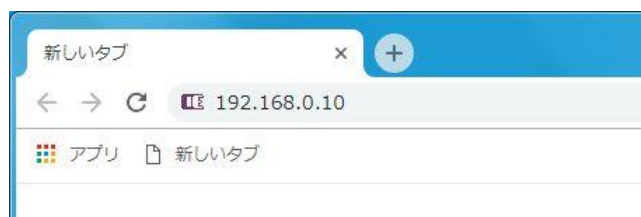
RLY5201 は、[1.3.6. 1.4.1.47892.1.1.90.0.]の後に、以下のオブジェクト識別子でトラップが発行されます。各トラップは、index(Slot 情報)を持つ SNMP 設定情報が添付されます。

Trap 番号	内容
TrapCpuTempNormal 110	CPU 温度が設定値以下になったことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: CpuTemp (30.1.12.index)
TrapInSeloutChange 120	入力選択が切替わったことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: InSelout (30.1.20.index)
TrapCpuTempHigh 210	CPU 温度が設定値以上になったことを示すトラップ 添付 SNMP 設定情報: CpuTemp (30.1.12.index)

8. WebControl

WEB から、全ての設定を確認、変更できます。Google Chrome で IP アドレスを入力して、WebControl に接続します。

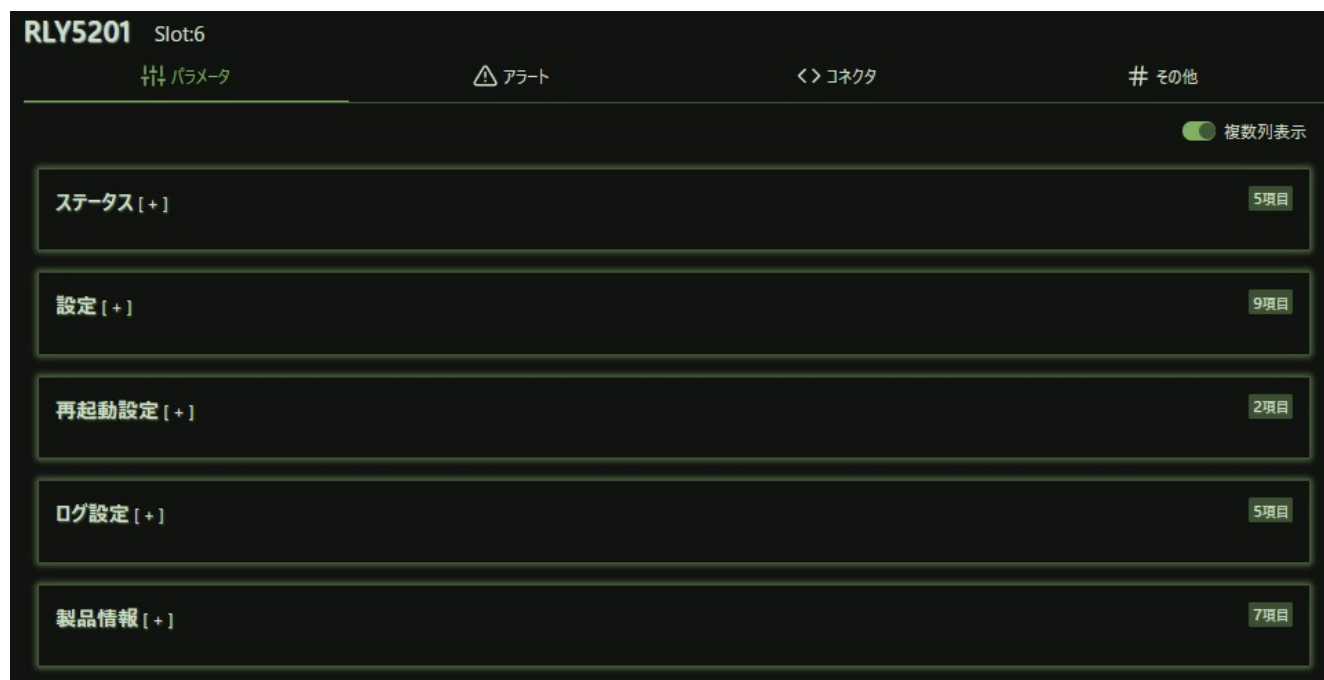
C5002-20/C5001-20 フレームの IP アドレス出荷時設定は、“192.168.0.10”です。



詳細な操作方法は 93-10092 「WebControl 取扱説明書」を参照してください。

8 - 1. モジュール画面

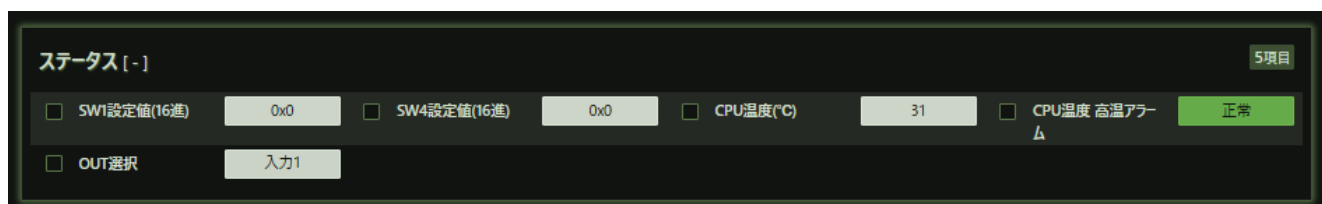
RLY5201 が挿入されたスロットをクリックするとモジュール画面が表示されます。



‘+’マークをクリックすることにより、各設定が表示されます。以下に各項目の説明を記載します。

8 - 2. ステータス

ステータスには各種モジュールの状態が表示されます。



8 - 2 - 1. SW1 設定値(16 進)

SW1 の設定状態を表示します。全て OFF で 0x0, 全て ON で 0xff と表示されます。

8-2-2. SW4 設定値(16 進)

SW4 の設定状態を表示します。全て OFF で 0x0, 全て ON で 0xff と表示されます。

8-2-3. CPU 温度 (°C)

CPU の温度を表示します。

8-2-4. CPU 温度アラーム

CPU の温度が閾値以内で正常 (緑点灯) か、閾値以上で高温 (赤点灯) かを表示します。

8-2-5. OUT 選択

現在出力している信号が入力 1 か入力 2 を表示します。

8-3. 設定

設定には、モジュールに設定できる項目が表示されます。

各項目は、プルダウンメニューにより設定できるパラメータを選択するか、値を直接入力することにより設定します。入力した時点で、モジュールには設定が反映されます。

8-3-1. CPU 高温アラーム閾値(°C)

CPU の温度を高温と判断する閾値を設定します。

8-3-2. アラーム設定@CPU 高温

CPU が高温 (閾値以上) になったときにアラーム出力するか (有効)、しないか (無効) を設定します。

8-3-3. トラップ設定@CPU 高温

CPU が高温 (閾値以上) になったときにトラップ出力するか (有効)、しないか (無効) を設定します。

8-3-4. トラップ設定@入力選択変更

入力選択を変更したときにトラップ出力するか (有効)、しないか (無効) を設定します。

8-3-5. 入力選択

WEB から入力を切り替えるときに切り替える入力を入力 1 か入力 2 から選択します。

8-3-6. 入力切替実行

入力選択で設定した入力を切り替えます。

8-3-7. GPI 制御設定

現在の GPI 制御を SNMP/WEB による制御か、SW1 による制御かをステータス表示します。

8-3-8. GPI 設定

GPI 制御を WEB 設定で行うときに、無効、レベル制御、パルス制御から選択します。SW1 による制御時は SW1 の設定状態が表示されます。

8-3-9. 初期設定に戻す

戻すボタンをクリックすると各種設定を初期状態にします。

8 - 4. 再起動設定

コントローラーの再起動を WEB から行うことができます。



再起動設定 [-] 2項目

☐ 再起動を許可
 いいえ
☐ コントローラの再起動
 再起動

8 - 4 - 1. 再起動を許可

再起動の許可をするか、しないかをいいえ、はいで設定します。

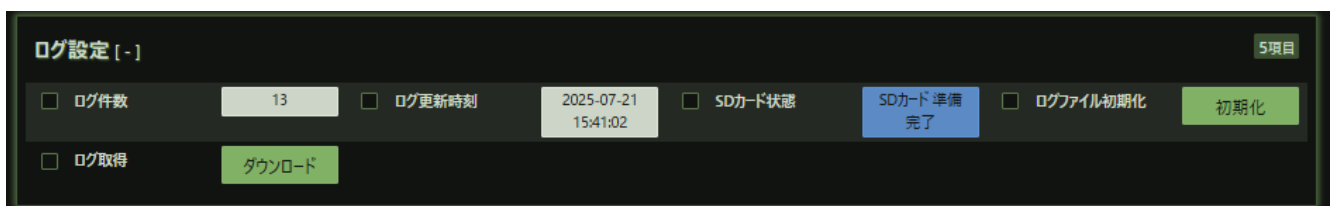
8 - 4 - 2. コントローラーの再起動

再起動の許可がはいの状態、再起動をクリックすることによりコントローラーが再起動されます。

8 - 5. ログ設定

ログの初期化、ログのダウンロードを行うことができます。動作中に SD カードを抜くとロギング動作は停止します。再度 SD カードを挿入した後は、コントローラを再起動してください。ログの時刻はリアルタイム時刻ソースで設定したソースの時刻情報です。また、ログに記録する内容は以下の通りです。

- 1) ステータス
 - ・リファレンス入力信号のアンロックを含むフォーマットと変化時刻
- 2) 設定
 - 全項目の設定値と変化時刻



ログ設定 [-] 5項目

☐ ログ件数
 13
☐ ログ更新時刻
 2025-07-21 15:41:02
☐ SDカード状態
 SDカード準備完了
☐ ログファイル初期化
 初期化

☐ ログ取得
 ダウンロード

8 - 5 - 1. ログ件数

現在のログ件数を表示します。最新のログが最大 10000 件保存されます。

8 - 5 - 2. ログ更新時刻

ログの最終更新時刻を表示します。

8 - 5 - 3. SD カード状態

SD カードの状態を表示します。

SD カード無：SD カードがスロットに挿入されていない状態。

SD カード検出：SD カードを検出しました。

SD カード準備完了：SD カードの準備が完了しました。（R/W アクセスしていません。）

8 - 5 - 4. ログファイル初期化

初期化ボタンをクリックすることにより、ログを初期化します。

8-5-5. ログ取得

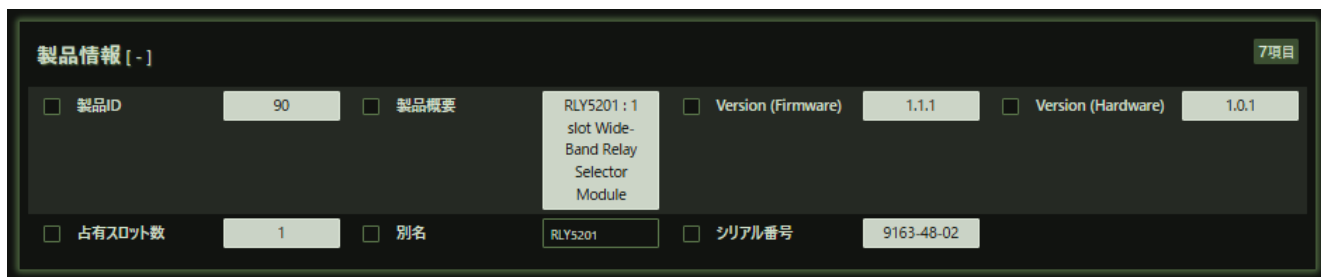
ダウンロードボタンをクリックすることにより、WEB を開いている PC にログをダウンロードします。

ダウンロードしたログの例を以下に示します。

idx	time	slt	mode	OID	type	val	Status	Description
5	2025-07-21 15:35:44	6	System	Time Sync				
6	2025-07-21 15:36:37	6	System	Logging Start v1.1.1				
7	2025-07-21 15:36:37	6	System	Time Sync				
8	2025-07-21 15:36:37	6	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.90.30.20	INT	1	IN_SEL	IN1
9	2025-07-21 15:36:58	6	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.90.30.20	INT	1	IN_SEL	IN1
10	2025-07-21 15:39:37	6	System	Logging Start v1.1.1				
11	2025-07-21 15:39:37	6	System	Time Sync				
12	2025-07-21 15:39:37	6	Status	1.3.6.1.4.1.47892.2.1.90.30.20	INT	1	IN_SEL	IN1
13	2025-07-21 15:41:02	6	System	Time Sync				

8-6. 製品情報

製品情報には各種モジュールの製品情報が表示されます。



8-6-1. 製品 ID

モジュールの ID 番号です。RLY5201 は 90 です。

8-6-2. 製品概要

モジュールの機能概要です。

8-6-3. Version (Firmware), Version (Hardware)

RLY5201 に搭載されている CPU の Firmware バージョンと、FPGA の Hardware バージョンを表示します。

8-6-4. 占有スロット数

占有するスロット数を表示します。RLY5201 は 1 スロットです。

8-6-5. 別名

別名を設定することができます。ユニークな名称を設定し、SNMP で名称確認することができます。

8-6-6. シリアル番号

モジュールのシリアル番号です。工場出荷時に設定します。

9. ピンアサイン

9 – 1. RLY5201

REM IN RJ-45

1	GND	3	N.C	5	N.C	7	N.C
2	IN2_SEL_B	4	GND	6	N.C	8	N.C

IN2_SEL_B メーク接点入力(+3.3Vロジック回路受け)。クローズで、IN2選択。オープンでIN1選択。

IN1_SELOUT 接点出力(24V/30mA)。GNDでINPUT1選択。オープンでIN2選択。

IN2_SELOUT 接点出力(24V/30mA)。GNDでINPUT2選択。オープンでIN1選択。

REM OUT RJ-45

1	GND	3	N.C	5	IN1_SELOUT	7	+12V OUT
2	IN2_SEL_BO	4	GND	6	IN2_SELOUT	8	N.C

IN2_SEL_BO オープンコレクター出力。クローズ(GND)で、IN2選択。オープンでIN1選択。

IN1_SELOUT 接点出力(24V/30mA)。GNDでIN1選択。オープンでIN2選択。

IN2_SELOUT 接点出力(24V/30mA)。GNDでIN2選択。オープンでIN1選択。

12V OUT +12V(100mA MAX)

9 - 2. RLY5201R

REM IN RJ-45

1	GND	3	N.C	5	N.C	7	+12V IN
2	IN2_SEL_B	4	GND	6	N.C	8	N.C

IN2_SEL_B メーク接点入力(+3.3Vロジック回路受け)。クローズで、IN2選択。オープンでIN1選択。

IN1_SELOUT 接点出力(24V/30mA)。GNDでINPUT1選択。オープンでIN2選択。

IN2_SELOUT 接点出力(24V/30mA)。GNDでINPUT2選択。オープンでIN1選択。

12V IN +12V入力(11.4~12.6V)

REM OUT RJ-45

1	GND	3	N.C	5	IN1_SELOUT	7	+12V OUT
2	IN2_SEL_BO	4	GND	6	IN2_SELOUT	8	N.C

IN2_SEL_BO オープンコレクター出力。クローズ(GND)で、IN2選択。オープンでIN1選択。

IN1_SELOUT 接点出力(24V/30mA)。GNDでIN1選択。オープンでIN2選択。

IN2_SELOUT 接点出力(24V/30mA)。GNDでIN2選択。オープンでIN1選択。

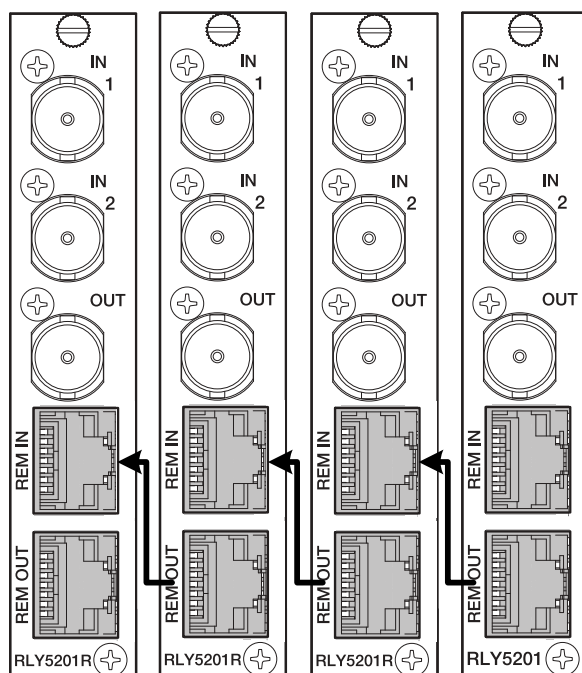
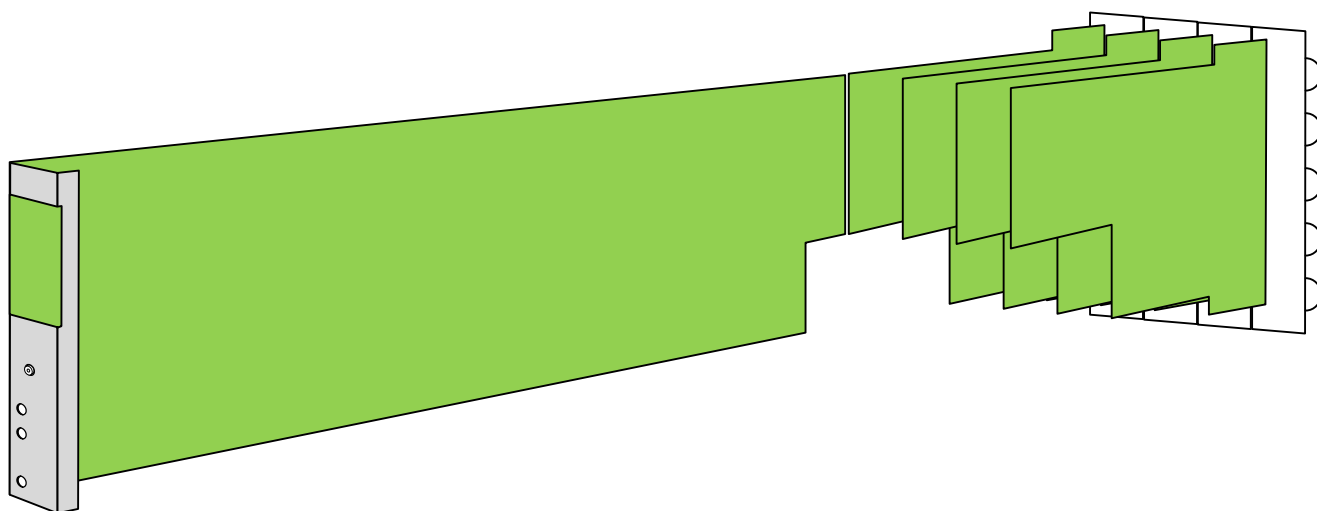
12V OUT +12V(100mA MAX)

10. 複数回線の連動切替について

複数回線を連動して切り替えるには RLY5201 と複数の RLY5201R を使用して切り替える方式と、複数の RLY5201 を使用して切り替える方式があります。

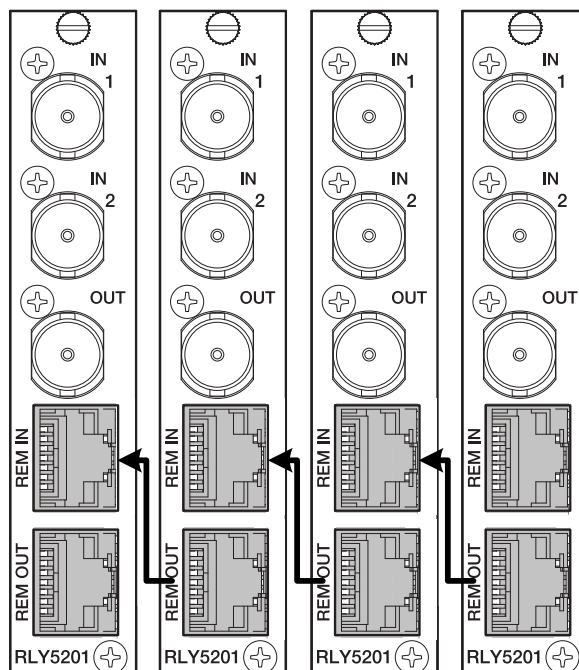
10-1. RLY5201 と複数の RLY5201R を使用して切り替える方式

- ・RLY5201 1 枚に対して、複数枚の RLY5201R を挿入することで、複数回線の連動切替が可能になります。
- ・切替制御は RLY5201 のリアモジュールに対して行い、リアモジュール間を外部ケーブルにて制御を受け渡し複数のリアモジュールで切替操作が行えます。
- ・この方式の場合、各切替状態のログを記録することが出来ません。（切り替えログは RLY5201 のみ）
- ・連動可能なリアモジュールの枚数は筐体によって違います。（C5002-20/21：20枚、C5001-20/21：6枚、C5001-HF：2枚）



1 0 - 2. 複数の RLY5201 を使用して切り替える方式

- ・RLY5201 を複数挿入することで、複数回線の連動切替が可能になります。
- ・切替制御は1枚目のリアモジュールに対して行い、リアモジュール間の外部ケーブルで制御を受け渡して切替操作が行えます。
- ・この方式の場合、各切替状態のログを記録することが可能になります。
- ・連動可能なリアモジュールの枚数は筐体によって違います。(C5002-20/21 : 20枚、C5001-20/21 : 6枚、C5001-HF : 2枚)



1 1 . 定格および電気的特性

入力信号	コネクター	BNCx2
	インピーダンス	NTSC、AES/EBU、SD-SDI、HD-SDI、3G-SDI 等 DC から 3G-SDI までの 75Ω 系信号。 (DC~2.97Gbps 75Ω BNC)
	入出力最大定格	AC/DC 30V 100mA 以内
出力	コネクター	BNCx1
	インピーダンス	入力フォーマットと同一信号を出力
リモート入出力	コネクター	RJ-45x2
	入出力規格	入力：メーク接点入力 +3.3V ロジック回路受け 出力：接点出力 MAX 24VDC/30mA
占有スロット数	1 スロット	
動作環境	0℃ ～ 40℃ 20% ～ 85% (結露無きこと)	
電源	DC 12V	
消費電力	RLY5201	2.5W
	RLY5201R	0.7W
外形寸法	398.5 x 88 mm	
質量	RLY5201	0.2kg
	RLY5201R	0.1kg
付属品	CBL5000-RLY1	RLY5201R の REM IN-OUT 接続ケーブル (RLY5201R に付属) (ストレート接続)

1 2 . お問い合わせ

株式会社 コスミックエンジニアリング

Address : 〒191-0065 東京都日野市旭が丘 3-2-11

TEL: 042-586-2933 (代表)

042-586-2650 (SI 部)

FAX : 042-584-0314

URL: <https://www.cosmic-eng.co.jp/>

E-Mail: c1000@cosmic-eng.co.jp